

年月日 平日＝2010年03月11日（木・晴）
休日＝2010年03月22日（月・晴）

回数 2008期・第22回平日巡礼
2009期・第11回平日巡礼＝21名
2009期・第11回休日巡礼＝23名

●三十七番札所 地福院（じふくいん）

- * 本尊・大日如来
- * 山号 玉田山
- * 曹洞宗（金沢、禅林寺・末寺）
- * 草創・不明

* 創立時代は不明ですが、縄地金山が採掘盛んな頃、平安時代と推察、当初は真言宗で金生院といった後年衰退し、1600（慶長五年）禅林寺二世、宣山宗随により再興し、曹洞宗・地福院と改めた。

●三十八番札所 禅福寺（ぜんぷくじ）

- * 本尊・釈迦如来
- * 山号 興国山
- * 曹洞宗
- * 草創・不明
- * 創立年代は不明ですが、1394（応永年間）香雲寺、開山僧、宗俊により再興し、曹洞宗・禅居院とし、後に香雲寺九世僧、宗樹が寺号を禅福寺と改めた。

●三十九番札所 観音寺（かんのんじ）

- * 本尊・十一面観世音菩薩
- * 山号 西向山
- * 曹洞宗
- * 草創・不明
- * 本尊・十一面観世音菩薩は運慶作
- * 創立時代は不明ですが、須崎の上方にあった、真言宗の寺院を、香雲寺九世、大室宗樹が1615（元和五

年)曹洞宗・観音寺と改宗した、1747(延享四年)現在地に移築された。

- * 合祀されている二体の仏像、聖観音像は、桧一本造りで、平安後期の作もう一体の、薬師如来像は、平安前期の作です。

●四十番札所 玉泉寺 (ぎよくせんじ)

- * 本尊・釈迦如来
- * 山号 瑞龍山
- * 曹洞宗
- * 草創・1573-92(天正年間)
- * 米国初代総領事館として使用
- * お吉物語で有名
- * 天正以前は真言宗の草庵であった、1580(天正年代)一嶺俊栄僧より曹洞宗に改宗され現在に及ぶ古刹です。1848(嘉永元年) 二十世翠岩眉毛和尚の代に現在の本堂が落成す。
- * 嘉永7年3月、日米和親条約の締結により、下田が開港され同年5月付録下田条約が結ばれる。
- * 米国初代総領事、タウンゼントハリス、とお吉の物語で有名な寺で当時の資料、遺品、古文書等が収蔵されたハリス 記念館がある。
- * 延命地藏菩薩像は秘仏で、60年に一回のご開帳です。前回の開帳は、2003(平成15年)でした。

距離 約4Km+約4Km+約9Km+3Km=約20Km

タイム 下土狩5:50-河津駅7:20(トイレ)-乗安寺7:40-地福院8:40~9:05-禅福寺10:00~10:15-外浦-須崎-観音寺12:10~25-恵比寿島(昼食・休憩)12:30~13:45-玉泉寺14:30~15:15-金谷旅館15:45~17:15-天城峠-三島-下土狩18:40

温泉 河内温泉(蓮台寺駅近く)=金谷旅館千人風呂(1000円)
その他 法話・お茶=玉泉寺(2000円)

天城峠を越えて河津駅でトイレを済ませます。3月に入り夜明けが早くなり楽に

なった。休日時はここで下田隊と合流。乗安寺前でバスを降りて巡礼開始。平日時天気は良かったが、まだまだ3月の風は冷たかった。

ここから国道を南下しすぐ旧道に出る。が、平日時は間違って一本前の道に入ってしまった。車が少ない旧道をノンビリ歩く。路傍には「ハマダイコン」の花が賑やかだった。「ハマダイコン」は、ダイコンの花にそっくりだが、根は小さく食用にはならない。

小一時間で地福寺着。平日時、住職は出張で誰もいなく外でお勤めだった。住職は私の下田の友人の元同僚で小学校の教師だったが、今は辞めてお寺に専念している。この次の禅福寺の住職はお父上。入り口の看板は、江戸時代この地に「網地金山」があったと記されていた。



再び旧道を巡礼。車がほとんど通らないので静かで気持ちが良い。本来の巡礼とはこうしたものだろう。旧道から一度国道に降りて、再び禅福寺に上る。

